

主旨・意見のまとめ

＜主旨＞

新型コロナウイルス感染症患者のための医療と通常医療を提供するため、医療連携・役割分担の面で行ってきた取組や日頃から行える準備等について、意見交換を実施

＜意見のまとめ＞

- ◆ 各医療機関が担う機能・役割を明確化し、関係者間で情報共有した上で、感染拡大時の連携体制を検討しておくことが重要
 - ・検討に当たっては、機能・役割をデータにより見える化させることが必要
- ◆ 平時・感染症有事とも、医療機関、行政、医師会等の中での定期的な情報共有や連携体制構築のための場を設けておくことが重要
- ◆ 感染拡大のフェーズに応じ、地域全体で機動的に病床運用・体制を変更させていくことが重要

医療連携・役割分担の前提となる各医療機関での取組に係る意見

地域での医療連携や役割分担を機能させる前提となる個別の医療機関における取組についても、さまざまな意見が共有された。

平時からの取組

- ◆ 感染症の感染拡大時BCP(事業継続計画)作成・訓練実施
 - ・院内での動線分離(空間的・時間的)・ゾーニングの検討
 - ・感染拡大フェーズごとの病床運用体制の検討
(各病棟の役割分担、病床閉鎖・休止の計画、運用ルール等)
- ◆ 院内感染予防教育の徹底
 - ・院内感染・クラスター発生を予防するための従事者教育
- ◆ 感染症を念頭に置いた設備等の整備
 - ・ゾーニングを考慮した設計、病室や診察室の陰圧化 等
- ◆ 感染管理や重症治療に係る人材の確保・育成等
 - ・対応可能な人材を増やす取組、院内人材の把握

感染拡大時における取組

- ◆ 感染症医療、通常医療の院内動線分離(ゾーニング)の実施
- ◆ 標準予防策・院内感染対策の徹底
 - ・通常医療の提供や医療連携に影響を及ぼす院内感染、院内クラスター発生の予防
 - ・入院・外来来院時の抗原検査等でのスクリーニング実施
- ◆ 院内各部署間の効果的な情報伝達・共有の実施
- ◆ 感染拡大のフェーズに応じた病床運用の変更
- ◆ ICU等、重症治療が可能な病床の効率的な運用
 - ・手術後ICU在室日数の短縮など